

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	現代文 B	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	新編現代文 B (東京書籍)						
副教材等	新国語総合ガイド(四訂正版)(京都書房) プライム常用国語(第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

以下の四点を大事にし、現代の評論、文学作品を学びましょう。

- 1、現代社会における評論、小説の奥深さを学び、言葉や表現を更に高める。
- 2、生徒が能動的に活動できるように話し合いや文章の作成、発表など活動的な授業を行う。
- 3、提出物については期日を守ると同時に自分で解答し復習することを重要視する。
- 4、「読む能力」を向上させるとともに、交流するための「話す・聞く能力」、意志を明確に伝えるための「書く能力」を身につける。

2 学習の到達目標

- 1、状況や内容に相応しい言葉を選び、適切に相手に考えや思いを伝えることができる。
- 2、作品における著者の主旨をとらえ、内容や構成について理解を深める。
- 3、言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな発想力を育む。
- 4、人間関係において意見や考えを尊重し合い、正しく意志を伝え合うことができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深める。更に文学について学びたいという思いを育てその向上を図る。	目的や場に応じた効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深める。又他者の意見と比較検討しまとめることができるようにする。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書く。特に自分の言いたいことをまとめ、適切な表現を用いているかを確認する。	文章を適切に読み取り、筆者の意図を理解するように努める。又、時代背景や筆者の内面について掘り下げ考えを発展させる。	基本的な言葉の意味を理解し、更なる探求心を育むために漢字や語彙、文章の書き方などの知識を修得している。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検(ノート、小テスト、ワーク)	行動の観察(発表、協同学習等による行動の評価)	記述の確認、添削(ノート、ワーク、作文等)	行動の観察、表現力の観察	記述の確認、表現力の観察(ノート、ワーク、小テスト、定期考査)
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	評論	「最初のペンギン」 茂木健一郎	○			◎	○	a：筆者の問題提起とその提起に対する考えを適切に理解しようとしている。 d：筆者の意図をくみ取り、論旨をとらえることができる。 e：評論で頻出する熟語や文の構成を理解し身につけようとしている。	a：行動の観察、記述の点検（ノート、小テスト、ワーク） d：行動の観察、表現力の観察 e：記述の確認、表現力の観察（ノート、ワーク、小テスト、定期考査）
	小説	「カンガルー日和」 村上春樹		○	○	◎		b：作品の内容を踏まえ作者の意図する主題を見つけることができる。 c：抽象的表現を理解し、自分のことばで説明したり感じたことを表現できる。 d：筆者の意図をくみ取り、論旨をとらえることができる。	b：行動の観察（発表、協同学習等による行動の評価） c：記述の確認（ノート、ワーク、作文等） d：行動の観察、表現力の観察
	随想	「物語の外から」 岸政彦	○			◎	○	a：筆者の問題提起とその提起に対する考えを適切に理解しようとしている。 d：筆者の思いを表現に注意して捉えている。 e：評論で頻出する熟語や文の構成を理解し身につけようとしている。	a：行動の観察、記述の点検（ノート、小テスト、ワーク） d：行動の観察、表現力の観察 e：記述の確認、表現力の観察（ノート、ワーク、小テスト、定期考査）

2 学 期	評論	「豊かさと生物多様性」 本川達夫	◎			○	○	a：筆者の問題提起とその提起に対する考えを適切に理解し生物多様性の重要性について考えを深める。 d：筆者の意図をくみ取り、論旨をとらえることができている。 e：熟語や漢字の意味を正しくとらえて表現力を高めようとしている。	a：行動の観察、記述の点検（ノート、小テスト、ワーク） d：行動の観察、表現力の観察 e：記述の確認、表現力の観察（ノート、ワーク、小テスト、定期考査）
	詩から作者の心を読む	「竹・永訣の朝」 萩原朔太郎 宮澤賢治	◎	○	○			a：詩特有の比喻法やいろいろな表現方法を味わう。 b：作品の背景を踏まえ作者の意図する主題をみつけることができる。 c：作品を作り、表現力、感受性を養い高めることができている。	a：行動の観察、記述の点検（ノート、小テスト、ワーク） b：行動の観察（発表、協同学習等による行動の評価） c：記述の確認、添削（ノート、ワーク、作文等）
	評論	「もう一つの知性」 姜尚中	○			◎	○	a：科学的思考とは異なる思考のあり方を適切に理解しようとしている。 d：筆者の意図をくみ取り、論旨をとらえることができている。 e：評論で頻出する語句の意味や使用法を理解し身につけようとしている。	a：行動の観察、記述の点検（ノート、小テスト、ワーク） d：行動の観察、表現力の観察 e：記述の確認、表現力の観察（ノート、ワーク、小テスト、定期考査）
	評論	「未来のありか」 若林幹夫	○			◎	○	a：未来とはなにか、という筆者の考えを適切に理解しようとしている。 d：筆者の意図をくみ取り、論旨をとらえ、自分の考えをまとめる。 e：評論の学術的用語や一般常識などを理解し身につけようとしている。	a：行動の観察記述の点検（ノート、小テスト、ワーク） d：行動の観察、表現力の観察、作文。 e：記述の確認、表現力の観察（ノート、ワーク、小テスト、定期考査）

3 学期	名作を味わう	「こころ」 夏目漱石		○	○	◎		b：作品の内容を踏まえ作品世界を感じ取ることができている。 c：作者や作品についてレポートを作り、文学作品についての造詣を深めている。 d：作者の意図をくみ取り、主題をとらえることができている。	b：行動の観察（発表、協同学習等による行動の評価） c：記述の確認、添削（ノート、ワーク、作文等） d：行動の観察、表現力の観察
---------	--------	---------------	--	---	---	---	--	---	--

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度      b：話す・聞く能力      c：書く能力

d：読む能力      e：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。